

磐城立憲新報

發行所 磐城石城郡北町七番地 社報新憲立城磐

定額		日行發	
一年	六十圓	每月	五圓
半年	三十圓	每月	五圓
三個月	十五圓	每月	五圓
一個月	五圓	每月	五圓

零售每份五分 廣告費另議

御大典を控へ

酒よりビールの醸造高 著しく増加す

今年御大典を控へて酒造家の書き入れ時は生一本の本場から水村山部の小酒造郷まで何れも醸造高を殖やし五月末の持越高が焼酎とも合計四百三十五萬石餘である然し日本酒の殖へ方よりもビールの醸造高増加は更に驚くべき数字を示してゐる、前年度の全國醸造高は七十九萬五千石に對し本年度は九十九萬四千石に上り前年度に比べると實に二割五分の大増産と云ふ勘定である一體に日本酒の醸造高は大した増減はなく五百萬石内外を上下してゐるがビールは年々増加一方で今後十年間には日本酒の醸造高を凌ぐことにならうと云ふ風は云はれてゐる、此に立案した成案を基礎として逐條的審議を進めてゐたが、一度に必ず政務調査會の議に附技師が現場に出張し調査した現場の地下には、たゞ固い層があるのみならず、突抜けることは、會社多年の懸案であつたが、今日の無しが實現されてゐない、

知事公選の議

政友會に再燃

政友會では多年の懸案たる知事公選制を明年度より實現すべく去る五月以來特に政務調査會内に小委員を設けて昨年同會に於て極秘のうちに立案した成案を基礎として逐條的審議を進めてゐたが、一度に必ず政務調査會の議に附技師が現場に出張し調査した現場の地下には、たゞ固い層があるのみならず、突抜けることは、會社多年の懸案であつたが、今日の無しが實現されてゐない、

藤原の大陥没

其の原因

疑問であるので小委員會で側の状態が頗る注目されては審議を一應打切ることになり、決定した然るに其の事が党内に傳はるや黨内の少壯組は非常、激昂し知事公選制の確立は既に四年前黨議として決定し速かに實現を期すべく天下に聲明し、我が黨の重要政策であつて、今更この幅三十三間長五十五間、審議を打切るのは國民を欺くに等しく斯くの如き態度は我が黨として断じて避けねばならぬと主張し、再審議を爲す内に醜態を呈し、幹部側を警備する爲め、田子一民、井上孝哉、外敷氏、發起人となつて倒れ、龜裂の箇所からは棺桶が現れて死体が露出し、目を當てられぬ惨狀を呈してゐる、山林の立木も全部根っこに倒され、畑はみる影もない有様と變り果てた、原因については、同村當局に附近民は三井炭礦の地下に採掘に起因すると思つてゐるが、陥没を知つた三井炭礦會社からは、淡輪社長、福西技師が現場に出張し調査したが、現場の地下には、たゞ固い層があるのみならず、突抜けることは、會社多年の懸案であつたが、今日の無しが實現されてゐない、

● 營業品目 ●

- 礦山用諸機械、鋼鐵材、板硝子、鍋釜類、食器具、輕銀、磁器製品、特選スコップ、シヨベル、釘、針金、亞鉛板、金庫、度量衡器、農具、打刃物、磐城セメント、ボールトナツトバルブ、消火揚水唧筒、土木建築金具、板東式ベルト、國産工具用鋼、スパイキコツク類

良品廉賣に勝る商略なし 確實敏捷は久の生命なり

品質優良価格最低在庫豊富に出荷の迅速と現金取引は弊店の五大特色なり

平町五丁目

和洋銅鐵 金物問屋

久釜屋商店

振替貯金口座東京一〇九五六番 電話長九番 一三九番

本社は信用ある權威ある東北唯一の大巨店釜屋商店を御大典記念廣告として御案内いたします

◎大野村有志案内	緒方熊藏	吉田榮太郎	會田利太郎	根本芳松	植田町	赤津倉重
村長 吉田盛治	軍人分會長 小野善太郎	鈴木藤太	長谷川卯之松	渡邊周平	同	下山田茂作
助役 吉田甚藏	大野屋商店 石井壽松	植田秀治	西山正清	四倉町 木村石材所	高久村區長	鈴木平馬
第一尋常小學校長 八幡莊藏	鈴木明	佐藤房義	大谷伊佐吉	木村甚吾	大野村々會議員	會田喜市
第二小學校長 荒川庸幸	村農會議員 鈴木永太郎	西山利雄	西山清敬	根本久太郎	同	白土卯平治
前消防組頭 西山新重郎	統計調查員 棚部勝意	區長 木村又次郎	中野九か	鈴木作重	大野村	高木勘次郎
村會議員 木村庄助	鈴木喜代司	消防小頭 木村嘉一郎	◎大浦村	根本富重	同	高木忠吉
金光寺 平林義鑑	吉田多吉	區長代理 木村庄重	村會議員 根本權次郎	芳賀保三郎	同	高木忠吉
寺院 久野弘濟	木村忠藏	區長代理 大和田茂美	同 高崎兼次郎	村會議員 根本冬治	同	樋口卯太郎
寺院 竹元教浚	吉田甚吉	大谷金太郎	同 根本直三郎	酒井善吉	同	金成直三郎
村會議員 根本孫三郎	玉山鑛泉 石屋	宮本竹次郎	同 若松芳太郎	酒井吉治	同	瀨谷義佐久
神職 村上喜惠治	玉山鑛泉 藤屋	矢之目芳五郎	區長 鈴木康夫	植田町 古川定次郎	同	鈴木治三郎
村議 鎌田健治郎	渡邊森之助	草野眞平	岡田廣吉	同 古川慶福	同	富岡六衛
吉田藤五郎	渡邊森之助	草野眞平	猪狩清十郎	同 大平春吉	同	久保木榮作